



公開シンポジウム

ふじのくに  
地球環境史  
ミュージアム  
Museum of Natural and  
Environmental History,  
Shizuoka



Risk and Resilience in the 21st century -Environment and Ecosystem-

# 21世紀は災害の世紀か — 生命と大地 —

静岡で考える過去・現在・未来

温暖化・グローバル化による生物種絶滅や外来種・ウイルスなどの蔓延、地震、土砂災害など、今世紀に入り「自然災害」はますます身近に忍び寄ってきました。本シンポジウムを通して、これら自然災害の現状を知り、向き合い方や復興について一緒に考えていきましょう。

## 2022年3月19日(土)

10:20-16:00 (開場 9:30)

静岡県コンベンション  
アーツセンター **グランシップ**  
11階会議ホール「風」

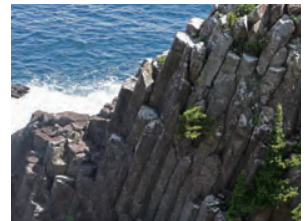
### 参加無料

※要事前申込み

受付期間 2/14(月)～3/13(日)

|      |                |
|------|----------------|
| 会場   | オンライン参加 (zoom) |
| 100名 | 200名           |

開催概要  
ご予約はこちら



### プログラム

|  |             |           |                      |
|--|-------------|-----------|----------------------|
| 開会挨拶                                   | 10:20-10:30 | 佐藤 洋一郎    | ふじのくに地球環境史ミュージアム館長   |
| セッション1「生命」                             | 10:30-12:05 | 司会 渋川 浩一  | ふじのくに地球環境史ミュージアム学芸部長 |
| 絶滅と脱絶滅：生物多様性を回復させる                     |             |           |                      |
| グローバル化が引き起こす外来種問題と感染症の危機               |             |           |                      |
| 災害後の自然史博物館の活動～さく葉標本レスキューと生物多様性影響調査～    |             |           |                      |
| 昼休み                                    | 12:05-13:00 |           |                      |
| セッション2「大地」                             | 13:00-14:35 | 司会 北村 晃寿  | 静岡大学防災総合センター長        |
| 静岡県の活火山とその対策                           |             |           |                      |
| 静岡で想定されている津波災害と津波防災対策                  |             |           |                      |
| 過去の震災における液状化被害および静岡県内における液状化対策         |             |           |                      |
| 休憩                                     | 14:35-14:50 |           |                      |
| ラウンドテーブル                               | 14:50-15:50 | 進行 佐藤 洋一郎 | ふじのくに地球環境史ミュージアム館長   |
| セッション1・2の登壇者とシンポジウム参加者によるラウンドテーブルを行います |             |           |                      |
| 閉会挨拶                                   | 15:50-16:00 | 北村 晃寿     | 静岡大学防災総合センター長        |

主催・お問い合わせ



静岡大学防災総合センター

Tel:054-260-7111 Fax:054-238-5870

E-mail:info@fujimu100.jp

www.fujimu100.jp

共催

# 21世紀は災害の世紀か—生命と大地—

Risk and Resilience in the 21st century -Environment and Ecosystem-

セッション1「生命」 From the viewpoint of biology 生物多様性の喪失など「生」の災害に焦点を当てて、生物学・博物館学の立場から考えていきます

セッション2「大地」 From the viewpoint of geo-technology 火山や地震など「地」の災害に焦点を当てて、地質学・防災学の立場から考えていきます

## 登壇者プロフィール



岸田 拓士 KISHIDA Takushi

京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了、博士(理学)。京都大学大学院理学研究科研究員・同野生動物研究センター助教を経て、2020年よりふじのくに地球環境史ミュージアム准教授。専門は進化生物学、分子考古学。



岸本 年郎 KISHIMOTO Toshio

東京農業大学大学院博士後期課程修了、博士(農学)。自然環境研究センター主席研究員等を経て、2014年よりふじのくに地球環境史ミュージアムの設立に携わり、2018年より同教授。2021年より同同学芸課長。専門は昆虫分類学、生物地理学。



早川 宗志 HAYAKAWA Hiroshi

愛媛大学大学院連合農学研究科博士後期課程修了、博士(農学)。農研機構中央農業研究センター契約研究員等を経て、2018年よりふじのくに地球環境史ミュージアム主任研究員。2020年より同准教授。専門は植物分類学、雑草学。



小山 真人 KOYAMA Masato

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。静岡大学理学部助手、教育学部助教授を経て、2001年より静岡大学教授(未来社会デザイン機構、防災総合センター、地域創造学環、教育学部を担当)。専門は火山学、地質学、自然災害学。



原田 賢治 HARADA Kenji

東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)。京都大学防災研究所 COE 研究員、人と防災未来センター主任研究員、埼玉大学大学院理工学研究科助教を経て、2011年より静岡大学防災総合センター准教授。専門は海岸工学、津波工学、津波防災。



中澤 博志 NAKAZAWA Hiroshi

東京理科大学大学院理工学研究科修士課程修了後、建設コンサルタント会社に勤務。東京理科大学助手、港湾空港技術研究所研究員、防災科学技術研究所先端的研究施設活用センター室長を経て、2021年より静岡理工科大学教授。2007年博士(工学)。専門は地盤工学、地盤防災工学、液状化対策。



渋川 浩一 SHIBUKAWA Koichi 司会

東京水産大学大学院資源育成学専攻博士課程後期修了、博士(水産学)。松戸市立博物館学芸員補・国立科学博物館支援研究員・公益財団法人長尾自然環境財団研究員等を経て、2015年よりふじのくに地球環境史ミュージアム准教授。2016年より同教授。2021年より同学芸部長。専門は魚類分類学。



北村 晃寿 KITAMURA Akihisa 司会 / 開会挨拶

金沢大学大学院自然科学研究科博士課程修了、学術博士。京都大学理学部地質学鉱物学教室にて日本学術振興会特別研究員等を経て、1993年より静岡大学理学部地球科学科助手に着任。2013年より静岡大学大学院理学研究科の教授。2020年4月より静岡大学防災総合センター・センター長。専門は古生物学、第四紀学、地質学。



佐藤 洋一郎 SATO Yoichiro 開会挨拶  
ライブ・ア・プレ進行

京都大学農学部卒、農学博士。国立遺伝学研究所研究員、静岡大学助教授、総合地球環境学研究所教授・副所長、人間文化研究機構理事、京都府立大学教授などを歴任。2021年よりふじのくに地球環境史ミュージアム館長。専門は植物遺伝学だが、イネの起源と進化、農業と環境の関係史、食文化論などを研究してきた。

## 当日の注意事項

- 当日は会場の受付にてお名前を確認します
- 感染症対策の一環で、席は1つずつ空席を設けてのご利用になります
- 体調のすぐれない場合はご来場をお控えください
- 会場では手指の消毒、手洗いの励行とマスクの着用をお願いいたします
- ご来場の際は、最新の情報及び注意事項をHP等でご確認ください

## ふじのくに地球環境史ミュージアム公開シンポジウムの参加申込はこちらから

Webで申込の場合【受付期間 2/14(月)~3/13(日)】

<https://form.run/@fujimusympo>



上記 URL もしくは二次元コードからお申込みください。

往復はがきで申込の場合【3/13(日)必着】

必要事項：①参加者の氏名 ②住所 ③電話番号

送付先：〒422-8061

静岡市駿河区森下町 1-35 静岡 YM タワー 10F

(株)SBS プロモーション内

ミュージアム公開シンポジウム事務局

※申込み締切後、返信用はがきにて参加の可否をお知らせします。